

企業団 ニュースレター

第22号
(令和3年3月発行)

「福岡県南広域水道企業団水道ビジョン2020」を策定しました

水道ビジョンの策定について

当企業団の目指すべき将来像とそれを実現するための具体的な施策を示した「水道事業ビジョン」と中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を一体のものとして「福岡県南広域水道企業団水道ビジョン2020」を策定しました。

計画期間

令和2年度（2020年度）から令和11年度（2029年度）までの10年間

福岡県南広域水道企業団水道ビジョン2020

《基本理念》

安全で良質な水の安定供給により
住民生活の向上と地域の発展に貢献する

企業団の理想像

安全

いつでも安全、快適に利用できる水道

強 韌

災害や不測の事態に対応できる強さと
しなやかさを備えた水道

持 続

変化する経営環境に適応し、将来
に向かって持続可能な水道

目標実現に向けた施策

《施策目標1》安全で良質な水の安定供給
《主な事業》

- 1 安定供給の維持
- 2 水質管理体制の強化

《施策目標2》危機管理対策の強化
《主な事業》

- 1 水道施設の整備（ハード対策）
- 2 危機管理体制の整備（ソフト対策）

《施策目標3》経営基盤の強化
《主な事業》

- 1 健全な経営の確保
- 2 持続可能な水道施設の構築
- 3 広域連携・官民連携の推進
- 4 組織力の強化
- 5 省エネルギーの推進

(ホームページ)

<https://www.sfwater.or.jp/jigyounnei/keiei/entry-280.html>

福岡県南 水道ビジョン

検索



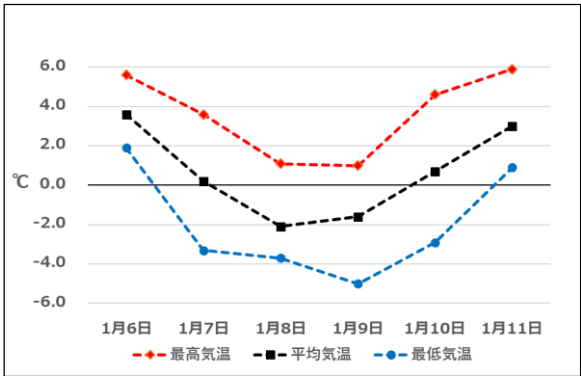
<令和3年1月寒波への対応について>

令和3年1月7日、強い冬型の気圧配置となり、九州北部地方に低温注意報が発令されました。その後、8日から9日にかけて大雪を伴う厳しい冷え込みとなり、各地で水道管の凍結破損による漏水が発生しました。

企業団では、1月8日から寒波対策の警戒体制をとり、気象情報や構成団体の漏水状況などの情報収集に努めました。1月10日には、漏水に伴う構成団体の配水量の増加に対応するため、職員を配置して送水量の調整などを行いました。この日は、今年度の一最大送水量となる121,223㎥（前年同月平均の約20%増）を記録しました。

気温が氷点下になると予想される場合には、水道管が破損し、漏水のおそれがありますので、凍結防止対策をよろしくお願いします。

送水状況



荒木浄水場での気温の推移
(1月6日～11日)

月日	送水量(㎥)
1月6日(水)	104,038
1月7日(木)	104,506
1月8日(金)	109,838
1月9日(土)	115,757
1月10日(日)	121,223
1月11日(月)	116,137
(参考)前年同月平均	101,719
(参考)前月平均	110,003

(ホームページ)
<https://www.sfwater.or.jp/jyuhoukougai/entry-212.html>

福岡県南 冬支度



<BCPに基づく訓練を実施しました>

令和2年12月1日に、福岡県南広域水道企業団事業継続計画（BCP）【地震対策編】に基づく防災訓練を実施しました。

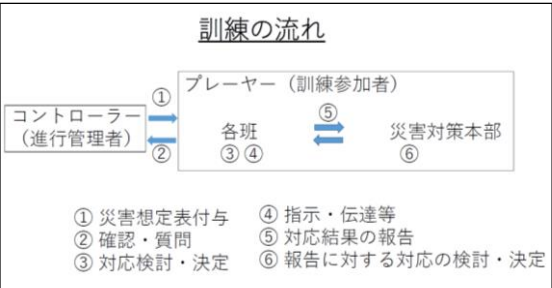
今回初めての試みとして、「図上シミュレーション訓練」を実施しました。これは、コントローラー（進行管理者）とプレイヤー（訓練参加者）に分かれ、コントローラーから順次付与される災害想定表に基づきプレイヤーが対応を検討し、関連部署との協議や指示・伝達を行っていくものです。

今回は以下の想定で訓練を行いました。

- ・水縄断層西部を震源とする直下型地震
- ・久留米市における最大震度は7
- ・導送水管にて大規模漏水発生
- ・構成団体にて断水発生

上記の想定は事前にプレイヤーへは知らされず、コントローラーから付与される災害想定表に基づき必要な対応を取るようになるため、実際の災害対策に近い形で訓練を行うことができました。

今回の訓練を通して、被災時における情報共有手段や初動対応等について改善点が見つかりました。改善点を整理し、BCPに反映していきたいと考えています。



図上シミュレーション訓練の流れ



訓練の様子（対策本部会議中）

<新型コロナウイルスに対する水道水の安全性について>

企業団では、国の法令に従い適切に塩素消毒を実施するとともに、国が定める水道水質基準に適合した安全な水道水を供給しています。

コロナウイルスに対しては、塩素等による消毒効果が高いため、適切に塩素消毒されている水道水が原因となり、新型コロナウイルスに感染することはないと考えられます。安心してご使用ください。

また、感染症予防の観点から、手洗いが有効であり、石鹸でよく洗ってから十分に水で洗い流すとより大きな効果があると言われています。

新型コロナウイルスに関しては、以下のウェブサイトなどで最新の情報をご確認ください。

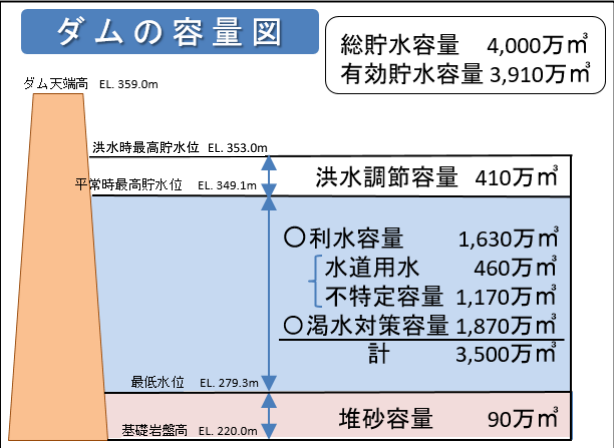
(ホームページ)
厚生労働省：新型コロナウイルス感染症について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



<小石原川ダム試験湛水の状況について>

試験湛水中の小石原川ダムは、令和2年7月14日に平常時最高貯水位（※EL349.1m）に到達しました。洪水期である9月末までは洪水に備えて平常時最高貯水位を維持していましたが、非洪水期となる10月から洪水時最高水位（EL353.0m）を目指して試験湛水を再開しています（令和3年3月9日現在、水位：350.62m、貯水率：94.3%）。

※EL：標高の略（日本では東京湾の平均的な海面を基準にした高さのことをいう）



R3.3 試験湛水の状況（写真は小石原川ダム堤体より上流を臨む）

<令和3年度水質検査計画の策定について>

水道水の水質検査については、水道法に基づいて、毎年度、水質検査計画の策定と公表が義務付けられています。水質検査計画とは、水質検査を「どの場所で」「どのような項目を」「どのくらいの頻度で」行うかを定めたものです。

企業団では、令和3年度の水質検査計画について、水道需要者の皆様のご意見を反映させた上で、3月末までに作成します。この水質検査計画は、企業団のホームページやお住まいの市や町の水道担当窓口でご覧になれます。

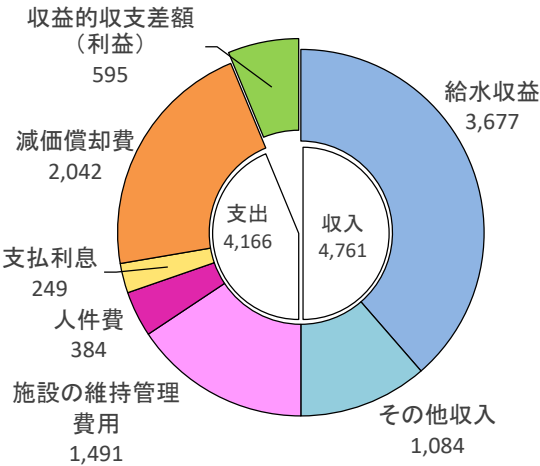
(ホームページ)
<https://www.sfwater.or.jp/jyouhoukoukai/anzen/keikaku-kekka.html>



令和3年度予算概要

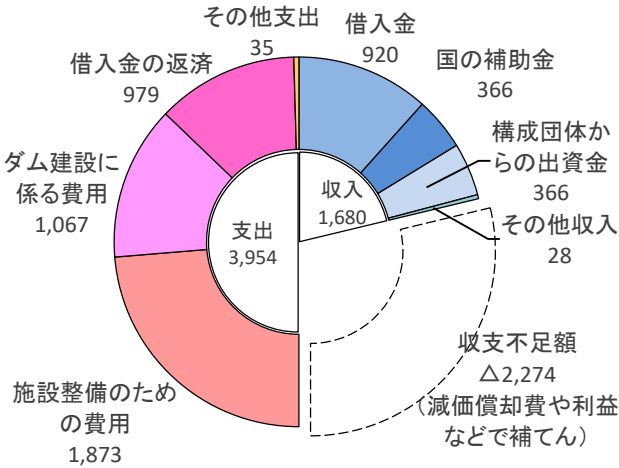
収益的収入および支出
＜水道水の供給に係る収入・支出＞

(消費税込み 単位:百万円)



資本的収入および支出
＜水道施設の整備や借入金の返済などに係る収入・支出＞

(消費税込み 単位:百万円)



構成団体への供給水量(8市3町1企業団)

項目	令和3年度
年間総供給水量	37,901,600m ³
一日平均供給水量	103,840m ³

主 な 事 業

- 第二期拡張事業～施設の拡張整備～
○構成団体へ水を送る送水管の布設工事
- 改良事業～設備・機器の計画的な更新～
○改良更新事業
・浄水施設の電気機械設備の更新
○水質検査機器等の更新

＜浄水ケーキ「すくすく」の配付を4月5日から開始します＞



浄水ケーキ「すくすく」
(約20L/袋)

浄水ケーキ「すくすく」は、荒木浄水場で水道水をつくるときにできる土で、野菜や花づくりなどに利用できます。

- 配付開始 : 2021年4月5日(月)
- 配付場所 : 荒木浄水場内にある天日乾燥場
- 配付日時 : 月、火、水曜日(祝日を除く)の
9:00~12:00
- 配付袋数 : 1人当たり1日4袋まで(状況により変動)
- 配付時の密集を防ぐため、連日のご来場はご遠慮願います。

「企業団ニュースレター」に関するご意見、ご要望は下記へご連絡をお願いします。



【お問い合わせ先】

福岡県南広域水道企業団 総務部 企画財政課

TEL : 0942-27-1561 FAX : 0942-27-1795

E-Mail : kikaku@sfwater.or.jp ホームページ : <https://www.sfwater.or.jp>

